



Subaru

男声合唱団

ニュース№498

‘15. 3. 7

久々の参加者を交え4曲をレッスン

3月6日

□ 2月22日から間があいて、2週間ぶりの3月6日（金）の定例レッスンは、奥村さんの体操に始まり、本並先生のヴォイストレーニングと指揮、静さんのピアノで、「人間のうた」、「淀川三十石舟唄」、「初心の歌」と「山賊のギャロップ」をレッスンしました。参加は、久々の参加の栗栖さん、はがさんを加えて、全28名でした。

□ 久々といえば、昂の初代のピアニストの千秋永津子さん（千秋団長の義理の姪っ子）が遊びに見えました。今は関東在住ですが、親の介護もあってよく帰ってきておられるそうです。今度のコンサート曲の「春を待つ」、「I've Got Six Pence!」はもともとのアカペラ曲に千秋永津子（旧姓 土肥）さんに素晴らしいピアノを作曲してもらったものです。



レッスン口メモ

□「人間のうた」は吉田桂子編曲の昴バージョンの新譜で行いました。途中、アカペラをMeno Mosso（いままでより遅く）で、一層情感を込めて歌います。また、バスパートで後半、半音上げたところがありますので要注意です。

□「淀川三十石舟唄」は、一番はさびのきいた乾さんのソロは今まで通りですが、2番から楽譜通りで短縮なしのバージョンです。今までほとんどのステージは短縮バージョンで歌ってきましたので、古い団員でも初めての人が多いと思います。難しい音程が多いので、パートレッスンをやり直す必要があります。本並先生からの「難しい音程があるが、男声合唱らしいアカペラのうたで、歌い甲斐、聞き甲斐のある歌でしょう？」との投げかけに、みなさんうなずいていました。

□「初心のうた」は、難しい「追いかけてっこ＝カノン」のところが、皆さん歌い込んできてさまになってきました。カノンは言葉が重なって聞き取りにくくなるので、言葉の出だしを特にはっきり発音するようにと指導がありました。

□「山賊のギャロップ」はピストルの音を伊藤さんに入れてもらって歌いました。ギャロップ（乗馬で“全速力”）らしいスピードで演奏できるまでもう一歩。この曲は、YouTubeに、ウィーンフィルのニューイヤーズコンサートの愉快的演奏（オーケストラで合唱ではありません）が載っていますので聴いてみてください。速さなど参考になるのではないのでしょうか。

おさそい

□大阪市会に立候補する**立川さんを励ます会**に沢山の賛同を得ました。3月8日（日）に事務所びらきがあり、励ます会の皆さん他多数の参加をお願いします。

□♪**ジェーフシカ210コンサート**♪が5月24日（日）15時開演、島之内教会で開かれます。ねこ＝乾清子（第一合唱団、乾さんの妻）、かこ、あつこの三重奏をメインに、オープニングにバスの乾さんの「淀川三十石舟唄」と「天満の市は」もあります。ヴァイオリン・フルート・ピアノの“ももちゃんファミリー”の特別出演や〈みんなで歌おう〉と多彩で楽しめそうです。みなさんどうぞ。問い合わせは乾さんまで。

□バリトンの仲谷さんが兼団している実力派「河南混声合唱団」が9月27日（日）に「第9回コンサート」をLICはびきので開きますが、「**特別団員を募っています**。男声が少ないのでぜひ応援をとのことです。曲は「アメイジンググレイス」（詩 山ノ木竹志）と「あすという日が」です。問い合わせは仲谷さんまで。